



# 令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月7日

上場会社名 日本ルツボ株式会社  
コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 広野 玲緒奈

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 令和元年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	4,963	3.5	240	21.0	260	20.7	168	23.2
31年3月期第2四半期	4,794	10.7	304	35.1	328	41.2	219	58.5

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 200百万円 (18.3%) 31年3月期第2四半期 245百万円 (7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	124.24	
31年3月期第2四半期	161.80	

当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合をしております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第2四半期	11,116	4,637	41.7	3,430.93
31年3月期	11,307	4,532	40.1	3,352.64

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 4,637百万円 31年3月期 4,532百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		70.00	70.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	1.2	450	19.3	470	21.9	330	18.4	244.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	1,409,040 株	31年3月期	1,409,040 株
期末自己株式数	2年3月期2Q	57,387 株	31年3月期	57,387 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	1,351,653 株	31年3月期2Q	13,516,874 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益の底堅さや雇用の改善傾向もあって、総じて緩やかな回復基調で推移しました。先行きに関しましては、各種政策の効果に支えられ引き続き緩やかな回復が期待されますが、企業の業況判断は製造業を中心に慎重さが増しており、また米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速などの懸念材料もあって、不透明感が一段と高まっております。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、国内販売台数が前年度比増加を維持するなど、概ね堅調に推移しております。

鉄鋼産業は、国内粗鋼生産量が足元前年比減少していることに加え、中国の粗鋼生産が引き続き高水準を維持しており、また米国の鉄鋼輸入制限措置などの需要下振れリスク要因もあって、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49億6千3百万円と前年同四半期比3.5%増加いたしました。しかしながら、利益面では、原材料価格の高止まり等により、営業利益は2億4千万円（前年同四半期比21.0%減）、経常利益は2億6千万円（前年同四半期比20.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千8百万円（前年同四半期比23.2%減）となりました。

## ①事業の分野別業績

鑄造市場向けは、売上高が20億1千万円（売上高比率40.6%）と前年同四半期比5.6%減少いたしました。

鉄鋼市場向けは、売上高が7億5千5百万円（売上高比率15.2%）と前年同四半期並み（前年同四半期比0.1%減少）となりました。

溶解炉・環境関連市場向けは、新設炉の受注及び炉修工事の増加により、売上高は15億5千9百万円（売上高比率31.4%）と前年同四半期比15.1%増加いたしました。

海外市場向けは、アジア地域での大型工事等により、売上高は4億2千9百万円（売上高比率8.6%）と前年同四半期比21.1%増加いたしました。

不動産事業は、本社ビルの賃貸料改定等もあって、売上高は2億1千万円（売上高比率4.2%）と前年同四半期比5.7%増加いたしました。

## ②事業の種類別セグメントの業績

セグメント別の売上高は、耐火物事業の売上高は29億9千5百万円（売上高比率60.4%）と前年同四半期比4.5%減少し、営業利益は2億4千1百万円と前年同四半期比19.3%減少いたしました。溶解炉・環境関連市場向けのエンジニアリング事業の売上高は17億5千8百万円（売上高比率35.4%）と前年同四半期比20.4%増加し、営業利益は1億7千万円と前年同四半期比6.0%増加いたしました。不動産事業の売上高は2億1千万円（売上高比率4.2%）と前年同四半期比5.7%増加し、営業利益は1億1千3百万円と前年同四半期比4.1%増加いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比1億4千3百万円（2.1%）減少し、65億9千5百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比4千7百万円（1.0%）減少し、45億2千2百万円となりました。主として、製造設備の減価償却によるものです。

これにより、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1億9千1百万円（1.7%）減少し、111億1千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億5千3百万円（3.8%）減少し、39億2千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比1億4千3百万円（5.3%）減少し、25億5千3百万円となりました。主として、長期借入金の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1億6百万円（2.3%）増加し、46億3千7百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.7%（前連結会計年度末は40.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の通期連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）につきましては、令和元年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日（令和元年11月7日）公表の「令和2年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。